

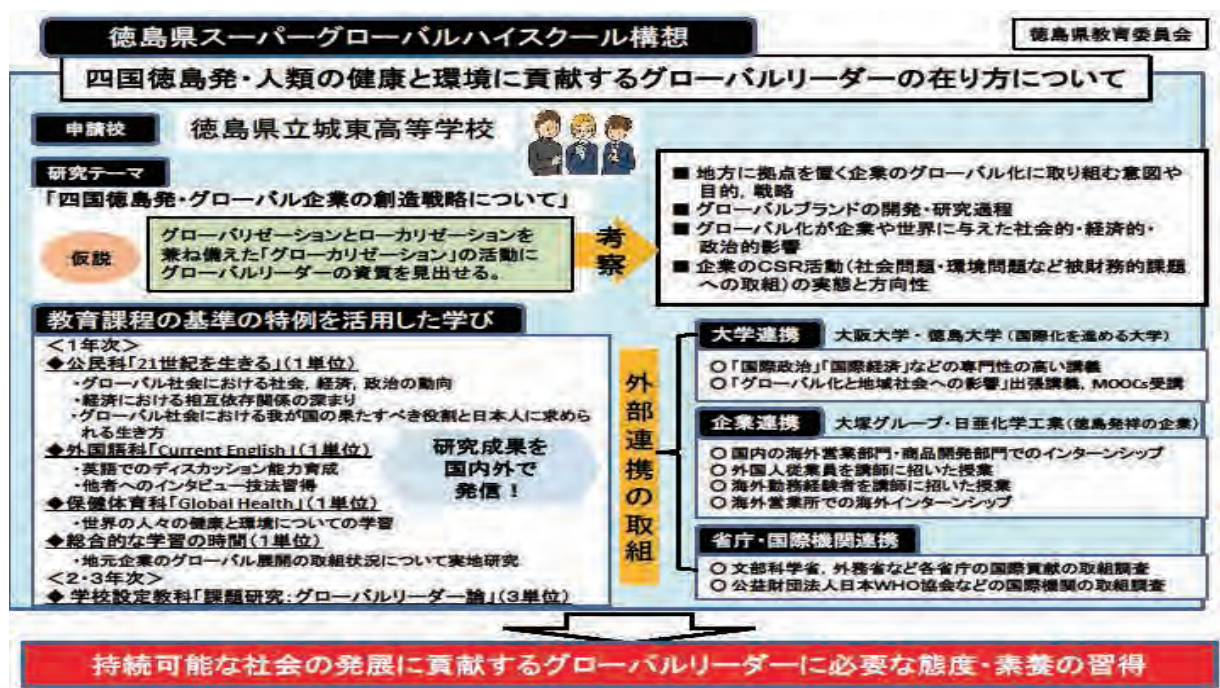
徳島県立城東高等学校

四国徳島発・人類の健康と環境に貢献する グローバルリーダーの在り方について

【構想の概要】

グローバルリーダーに求められる資質を探究していくにあたり、「四国徳島発・グローバル企業の創造戦略について」を研究テーマに、県内に拠点・本社が置かれているグローバル企業（大塚製薬、日亜化学工業）や大学（大阪大学、徳島大学）と連携し、5つのスーパーグローバルプログラム（以下、SGプログラム）を実施する。

自分たちが考える「グローバル戦略」「グローバルブランド」「CSR活動」や、グローバル化が世界に与えた社会的・経済的・政治的影響から予測する今後の世界の潮流等について、「課題研究」を希望別にグループに分かれて行う。人類の健康増進と環境保全の観点からも考察、発信していくため、大学・留学生等からサポートを受けて研究に取り組む。本校が主催するSGH発表会のほか、県内外での発表の場において発信することをおとし、持続可能な社会の発展に貢献するグローバルリーダーに必要な態度や素養を習得する。



＜平成30年度入学生 教育課程＞

※1年次の「21世紀」は21世紀を生きる。「CE」はCurrent English、「GH」はGlobal Healthです。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1年	人文社会	国語	現代社会	21世紀	英語	CE	数学	化学基礎	体育	GH	芸術	家庭	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語
2年	人文社会	国語	世界史B	日本史B	英語	数学	生物基礎	地学基礎	体育	GH	芸術	家庭	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語
3年	人文社会	国語	世界史B	日本史B	英語	数学	生物基礎	地学基礎	体育	GH	芸術	家庭	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語

全学年がSGH対象生徒、特に人文社会コースに学校設定科目（SGH科目）を配置。

※赤字が学校設定科目。

1年の「21世紀」は「21世紀を生きる」

「CE」は「Current English」「GH」は「Global Health」

本校のSGH事業は、5つのSGプログラムを進め、課題研究を実施、その成果を発信した。

SGプログラムについて

1. スーパーグローバル講座 academic

大阪大学大学院国際公共政策研究科・徳島大学との連携による講演・講義・ワークショップ・課題研究のサポートを中心とした、大学の講師陣による講座の開講

2. スーパーグローバル講座 professional

県内に本社を置くグローバル企業、大塚製薬・日亜化学工業と連携して実施する講演、企業研修・国際機関訪問及びインターンシップ等の実施

3. グローバルリーダー育成メソッドⅠ in school

1) 学校設定科目（対象生徒）

a) 「21世紀を生きる（公民科）」

b) 「Current English（外国語科）」

（以上1学年人文社会コース26名）

c) 「Global Health（保健体育科）」（1学年321名）

d) 「クエスト（Quest：総合的な学習の時間）」

1学年（321名）：企業訪問・職業ガイダンス等を通じた自己理解及びSG講座

2学年（324名）：課題研究の実践

3学年（272名）：テーマ研究・ディスカッション・ディベート及び小論文演習

e) 「グローバルリーダー論Ⅰ」（2学年人文社会コース37名）：英語でのディスカッション、プレゼンテーション、ミニディベート等

f) 「グローバルリーダー論Ⅱ」（3学年人文社会コース40名）：課題研究を英語でプレゼンテーション、英語論文作成等

2) 英語運用能力の育成

a) TOEIC 全員受検、

b) CAN-DO リストによるパフォーマンステスト

c) Essay Contest の実施

d) 英検などの受験対策指導等

4. グローバルリーダー育成メソッドⅡ home

中央省庁（外務省・文部科学省等）や国内の国際機関（FAO,JICA,WHO 等）を訪問しての調査・研究

5. グローバルリーダー育成メソッドⅢ abroad

フランス研修（姉妹校交流）・インドネシア研修による海外での調査・研究。特に、大塚製薬海外拠点・工場等での調査・研究、インターンシップ、小学校での環境啓発活動及び現地高校生との共同研究等 GL abroad における、フランス姉妹校での「環境問題」のディスカッションや、大塚製薬の海外拠点インドネシアでのインターンシップやCSR活動の経験等は、本校の研究課題テーマに沿った取組であり、その成果は「課題研究」での発表へとつながった。



課題研究について

1. 課題研究の実践（2学年324名）

a) マインドマップによるテーマ設定（参考文献「学びの技」玉川大学出版部、2014）

b) 論題設定に関する徳島大学教授による講演（計2回）

c) 徳島大学教授陣からの課題研究指導（計3回）

2. 成果発表

a) SGH課題研究発表会（参加は1・2学年645名・学校関係者、発表は2学年代表班10班・海外研修班）及び生徒論文「叢智の扉」発行

b) SGH発表会（参加は全学年人文社会コース102名・学校関係者、発表は3学年人文社会コース代表班4班・海外研修班）及び生徒論文「English Research Paper」（英語）発行

学校設定科目の取組を「クエスト」の中核に置き、全学年・全校生徒の「課題研究」の取組が英語発表へと深化した。今後も、「健康」と「環境」をキーワードに高校生が考える「四国徳島発・グローバル戦略」等の提案ができるよう、改めて「グローバル人材とは」「生徒にどんな力を付けたいか」を学校全体で検討し取り組みたい。